

うつのみや



社協だより

令和5年4月20日 発行

編集発行 188号

社会福祉法人
宇都宮市社会福祉協議会
宇都宮市中央1丁目1番15号
宇都宮市総合福祉センター内
電話 028-636-1215(代)
FAX 028-638-9856
http://www.utsunomiya-syakyo.or.jp

宇都宮市社会福祉協議会

検索

共に支え合い、助け合う“向こう三軒両隣”の地域共生社会の実現を目指して
令和5年度宇都宮市社会福祉協議会

「会員会費」ご協力のお願い

〔趣旨〕 社協会員会費は、住民の皆様の身近な生活や福祉の問題を解決し、安心して暮らせる地域をめざし、市内各地区（39地区）や市内全域を対象に実施している地域福祉活動の財源となっています。

会員会費の使い道（地区での活用の一例）



▲高齢者見守り活動員連絡会（明保地区）

～ 会員の種類と会費額（年額）～

普通会員（各世帯）	300円
特別会員（個人）	1,000円
団体会員（社会福祉施設・団体など）	5,000円
賛助会員（企業・事業所・個人）	10,000円

～ 令和4年度会費実績額 ～

34,157,636円

（※普通会費、特別会費、団体会費、賛助会費）
皆さまのご協力に厚く御礼申し上げます。

会員会費（会員加入）は任意であり、強制ではありませんが、なにとぞ、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

“うつのみや社協だより”は、**回覧**です。よろしくお願い申し上げます。



宇都宮市社協HP

令和
5年度

ボランティア養成講座

令和5年度に開催予定のボランティア養成講座をご案内します。

講座の詳細や申込方法などは、随時「ボランティアセンターホームページ」「広報うつのみや」などでお知らせしていきます。皆さまのご参加をお待ちしています。

テーマで学んでみたい方

	講座名	内容	開催予定
1	災害福祉救援 ボランティア養成講座	近年、大規模自然災害等が全国各地で発生しており、今や災害はいつ私達の身に降りかかるかわからない状況と言えます。日頃からできる減災策や、災害ボランティアについて学ぶ講座です。(全3回予定)	6月頃
2	サマーボランティア スクール	高校生や大学生を対象とした、夏のボランティア体験講座です。仲間と出会い、喜びや感動を分かちあう夏の思い出づくりに参加してみませんか？(全2回予定)	8月頃
3	傾聴ボランティア 養成講座	傾聴とは、相手の話を否定せずに受容し、心を傾けて聴くことです。 傾聴の基本や技術などを、講義やロールプレイをとおして学ぶ講座です。(全3回予定)	9月頃

体験したい、知りたい方

	講座名	内容	開催予定
1	ぼらんていあ Saturday ～聴覚障がいの理解～	「聞こえないってどんなこと？」 「手話を学ぼう」	7月頃
2	ぼらんていあ Saturday ～視覚障がいの理解～	「視覚障がいについて学ぼう」 「点字・アイマスクを体験してみよう」	
3	ぼらんていあ Saturday ～発達障がいの理解～	「発達障がいってなんだろう？」 デモンストレーション、不自由体験 他	9～10月頃
4	ぼらんていあ Saturday ～精神障がいの理解～	「精神障がいってなんだろう？」 「精神保健ボランティアについて」	9～10月頃



ご協力ありがとうございました。

皆さまのあたたかい善意に心より感謝いたします。

使用済切手やプルタブによる益金は、宇都宮市内の地域福祉活動やボランティア活動の推進・支援に活用させていただきます。

寄附順・敬称略

令和4年12月21日～令和5年2月20日

預託者名	預託品等	預託者名	預託品等
(株)増淵組	使用済切手	ゆたか団地 豊寿会	プルタブ
やしお会 興野憲史	使用済切手・プルタブ	カラオケまねぎねこ 宇都宮岡本店	プルタブ
福山 清貴	サッカーボール	銜鈴木燃料店	プルタブ
(株)オートテックジャパン	使用済切手	M テクノ(株)	50,000 円
宇都宮市シルバー人材センター 女性部会	雑巾	齋藤 富夫	1,000 円
松浦 悦子	プルタブ	齋藤 モト	1,000 円
(株)栃木銀行	お米・使用済切手・プルタブ	齋藤 恵美子	1,000 円
沼子 典司	プルタブ	齋藤 英一	1,000 円
浅野 正男	1,000 円	(株)シノザキ	100,000 円
浅野 巴恵	1,000 円	北関東総合警備保障(株) 代表取締役社長 青木靖典	10,000 円
浅野 郁子	1,000 円	トヨタカラー栃木(株)	10,000 円
浅野 岳彦	1,000 円	渡部 流美	ブランケット・タオル
アーバン・スタッフ(株)	使用済切手	石綱 正	プルタブ
高齢者等地域活動支援ポイント事業 参加者163名	44,900 円	手塚 晴彦	使用済切手・プルタブ
国際ソロプチミスト宇都宮	100,000 円	カルビー(株)新宇都宮工場	使用済切手
宇都宮商工会議所女性部	30,000 円		

【お問い合わせ】 ボランティアセンター（総合福祉センター8階） 電話 636-1285 FAX 634-2870

ホームページもご覧ください。 [宇都宮市社協ボラセン](#)

[Q検索](#)



ボラセンQRコード

「第5次宇都宮市地域福祉活動計画」を策定 ～共に支え合い、助け合う“向こう三軒両隣”の地域共生社会の実現を目指して～

基本目標 1

福祉のこころを はぐくむ人づくり

基本施策 1 福祉のこころの醸成と交流活動の促進

- ・子ども・若者育成推進事業の実施【新規】
- ・市民福祉の祭典の実施

基本施策 2 福祉に関する人材の育成

- ・ボランティア・地域福祉活動担い手養成講座の開催【拡充】
- ・高校・大学等との連携によるボランティア活動の促進【新規】

基本施策 3 福祉共育の推進とバリアのない社会づくり

- ・すべての世代を対象とした福祉共育の推進【拡充】

基本目標 2

共に支え合う 地域づくり

基本施策 1 地域住民の主体的な福祉活動への支援

- ・コミュニティワーク（地域支援）の強化【拡充】
- ・地区社会福祉協議会における活動活性化の支援
- ・福祉協力員活動の充実【拡充】
- ・ふれあい・いきいきサロン事業の推進【拡充】

基本施策 2 気軽に参加・参画できる福祉活動の充実

- ・赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金運動の推進
- ・善意銀行事業の推進
- ・高齢者等地域活動支援ポイント事業の推進

基本施策 3 共に支え合う地域ネットワークづくり

- ・災害時における支援力強化のための連携体制の構築【一部新規】
- ・安心・安全情報キット配付事業の推進

基本目標 3

安心して暮らせる 福祉の基盤づくり

基本施策 1 身近な福祉課題に関する相談支援体制の充実

- ・権利擁護支援の充実【一部新規】
- ・生活困窮者自立相談支援事業の推進
- ・心配ごと・悩みごと相談センター事業の推進

基本施策 2 将来を見据えた地域における福祉基盤づくりの支援

- ・地区福祉のまちづくり計画の策定【拡充】
- ・社会福祉法人等のつながりを促進するネットワークの構築【新規】

基本施策 3 デジタル等を活用した分かりやすい情報提供

- ・多様な媒体の活用による地域福祉情報の発信の強化【拡充】

？ 地域福祉活動計画って何？

私たちの住む地域において誰もが安心して暮らすことのできる“福祉のまちづくり”を進めるための指針・行動プログラムとして宇都宮市社会福祉協議会が策定するものです。

平成30年4月に策定した「第4次宇都宮市地域福祉活動計画」が令和4年度で終了し、新たに第5次計画を策定しました。引き続き、福祉のまちづくり活動への参加・協力をお願いいたします。



▲第5次宇都宮市地域福祉活動の冊子

令和
5年度

宇都宮市社会福祉協議会 事業計画

事業方針の概要

本会では、新たに策定した第5次宇都宮市地域福祉活動計画における、「福祉のこころをはぐくむ人づくり」「共に支え合う地域づくり」「安心して暮らせる福祉の基盤づくり」の3つの基本目標のもと、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる“向こう三軒両隣”の地域共生社会の実現を目指し、今後も地域の実情把握や本会の組織体制の強化を図りながら、本会の有する機能と役割を最大限に発揮し、引き続き地区社会福祉協議会や宇都宮市をはじめとする関係機関・団体との連携を密にして、職員一丸となり、さらなる地域福祉の推進に努めます。



1

福祉のこころをはぐくむ人づくり

- ・多世代の交流を促進し、ボランティア活動等への参加により、相互理解を深めながら、やさしさや思いやりの心を育みます。
- ・地域活動への参加を通じ、福祉への気づきや学びを促し、地域課題解決に取り組む実践者や地域づくりの担い手の育成を推進します。
- ・障がい等の有無にかかわらず一人ひとりがお互いを理解し、多様な人のことを思いやることのできる心のバリアフリーを推進します。



▲出前福祉共有講座



2

共に支え合う地域づくり

- ・各地域の特性や強みを生かした地域福祉活動の推進により、住民自らが住民一人ひとりの課題を地域全体の課題と捉え、その解決に向けた活動を支援します。
- ・寄附やボランティア活動を通じて、子ども・高齢者・障がい者などを支援する活動を支える、住民相互の支え合い・助け合うしくみを推進します。
- ・日常生活だけでなく、緊急時においても地域での支え合い活動が促進されるよう、地域住民や地域の様々な資源のつながりづくりを進めます。

▲災害時における
三者連携支援を考える研修



3 安心して暮らせる福祉の基盤づくり

- ・多地域に潜在する複雑化・複合化した問題を受け止め、支援につなぐことができるよう、気軽に相談できる窓口や、相談者に寄り添った支援体制の充実を図ります。
- ・住民や様々な社会資源がつながりながら、誰もが安心して生活できる福祉のまちづくりに向けた活動を支援します。



▲心配ごと・悩みごと相談センター

※具体的な事業計画の内容等につきましては、本会ホームページに掲載しております。是非ともご覧ください。

宇都宮市社協HP
QRコード



令和5年度

宇都宮市社会福祉協議会 収支予算

収入 1,300,031 千円

科目	金額(千円)
① 会費収入	34,380 (2.6%)
② 寄付金収入	5,051 (0.4%)
③ 補助金収入	280,097(21.5%)
④ 受託金収入	629,447(48.4%)
⑤ 事業収入	9,119 (0.7%)
⑥ 介護保険事業収入	64,213 (4.9%)
⑦ 障害福祉サービス等事業収入	10,905 (0.8%)
⑧ 受取利息配当金収入	2,164 (0.2%)
⑨ その他の収入	283 (0.1%)
⑩ 基金積立資産取崩収入	152,768(11.8%)
⑪ 前年度繰越金	111,604 (8.6%)

支出 1,300,031 千円

科目	金額(千円)
① 地域福祉事業 法人運営、福祉活動推進事業、ボランティアセンター事業、総合相談センター事業、権利擁護・成年後見センター事業、ぎんなん基金事業、善意銀行事業、共同募金配分金事業	557,512(42.9%)
② 福祉資金貸付事業 生活福祉資金	15,009 (1.2%)
③ 指定管理事業 老人福祉センター(5施設)、地域活動支援センター(2施設)、障がい者福祉センター、総合福祉センター(2施設)	493,274(37.9%)
④ 介護保険事業 訪問介護事業、通所介護事業、居宅介護支援事業、相談支援事業	84,962 (6.5%)
⑤ 受託事業 地域包括支援センター(2施設)、生活困窮者自立相談支援事業、中核機関事業	141,990(10.9%)
⑥ 在宅福祉サービス事業 ファミリーケアサービス事業	7,284 (0.6%)

ご存知ですか？ ～身近な存在『福祉協力員』～

福祉協力員とは、誰もが安心して暮らし続けることができる地域を作るために、地域で見守りや声掛けを行っている「地域福祉のボランティア」です。自治会長と地区社協会長から推薦され、市社協会長が委嘱しています。市内では約 2,500 人の福祉協力員が活動しています。

自治会、民生委員・児童委員、地区社協等の地域団体や地域包括支援センター等の専門職とも連携し、日常の中でのさりげない見守りを通して、福祉的に困っている人や気になる人への声掛けをしたり、課題解決に向けた活動に協力したりしています。身近なところでは、ふれあい・いきいきサロン、敬老会、ひとり暮らし高齢者ふれあい会食会の運営の他、地域のイベントのお手伝い等、様々な場面で活動しています。

現在、令和 5 年度からご協力いただける福祉協力員さんを大募集中です。興味のある方はぜひお問い合わせください。



〔陽南地区〕

『ふれあい・いきいきサロン』を自治会や民生委員・児童委員の方と協力して開催。

次回のサロン活動の準備のために、公民館で打ち合わせ。

【お問い合わせ】 地域福祉課（総合福祉センター 5 階） 電話 636-1215 FAX 637-2020

ぎんなん基金

ご協力ありがとうございました。

皆さまのあたたかい善意に心より感謝いたします。
ぎんなん基金は地域福祉事業に活用させていただきます。

令和 5 年 1 月～3 月

寄附順・敬称略

寄附者（団体）	金額（円）
宇都宮海星女子学院中学校 高等学校	20,000
高齢者等地域活動支援ポイント事業利用者 696 名	237,200
猪田 一良	1,300
石田 美江	10,000
宇都宮友の会	10,000
第 16 回宇都宮市民福祉の祭典実行委員会	146,671
関東西濃運輸労働組合宇都宮支部	150,000
栃木県レーザーカラオケ協会	43,118



～救援金の受付のご案内～

日赤栃木県支部宇都宮市地区（宇都宮市社会福祉協議会）では、以下のとおり救援金を受け付けております。皆さまの温かいご支援をよろしくお願い致します。

- ウクライナ人道危機救援金（受付期間：令和 4 年 3 月 2 日～令和 6 年 3 月 31 日）
- 2023 年トルコ・シリア地震救援金（受付期間：令和 5 年 2 月 9 日～令和 5 年 5 月 31 日）

募金箱設置場所：市総合福祉センター、河内総合福祉センター
老人福祉センターことぶき会館・ふれあい荘・やすらぎ荘・すこやか荘、
上河内老人福祉センター

【お問い合わせ】 総務企画課（総合福祉センター 1 階） 電話 636-1215 FAX 638-9856